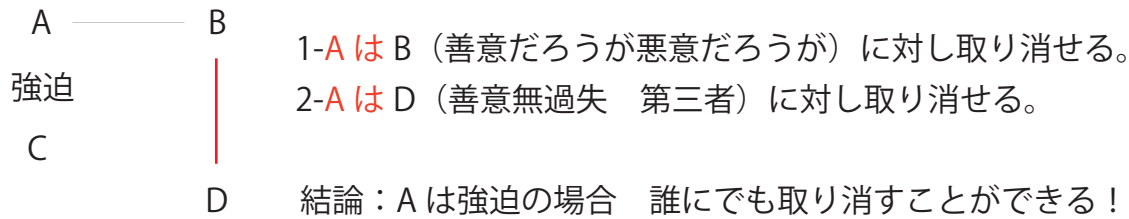
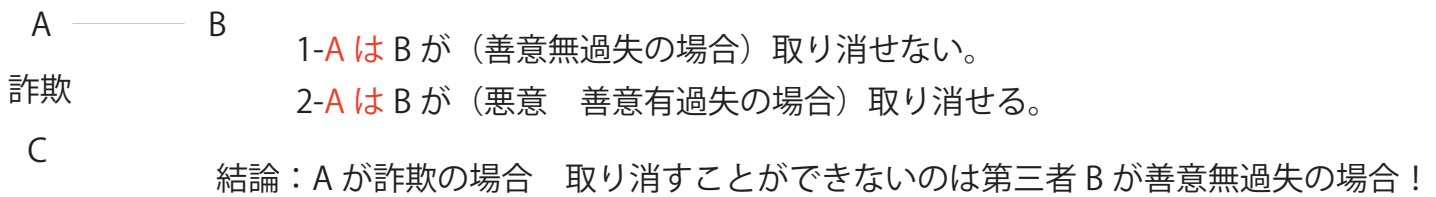


- ① 悪意・・・知っている
 善意 重過失・・・調べればすぐわかる。
 善意 軽過失・・・よくよく調べればわかる。
 善意 無過失・・・まったく知らない。) 善意 有過失) 善意

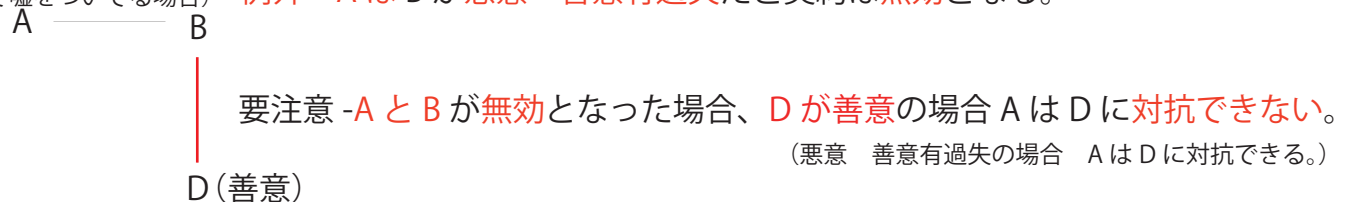
- ② 強迫・・・ A が C から強迫を受けて B と売買契約をした場合。



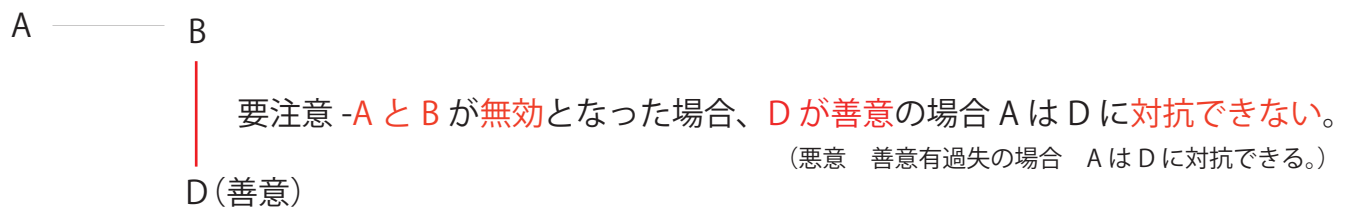
- ③ 詐欺・・・ A が C から詐欺を受け B と売買契約をした場合。



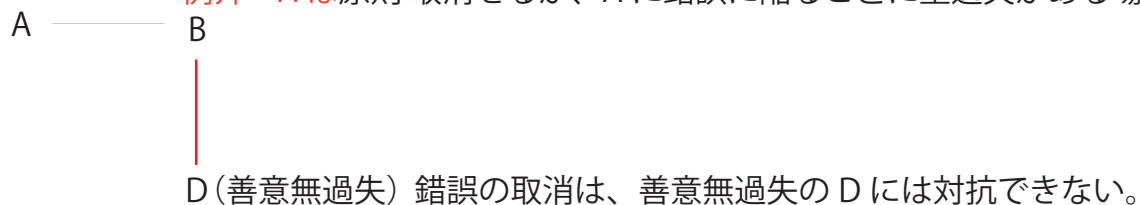
- ④ 心裡留保・・・原則 A は B が善意無過失だと契約は有効となる。
 (一人で嘘をついてる場合) 例外 A は B が悪意 善意有過失だと契約は無効となる。



- ⑤ 通謀虚偽表示・・・原則 A と B が通謀虚偽表示を行った場合 当事者間では無効。
 (二人で嘘をついてる場合)



- ⑥ 錯誤・・・原則 A の勘違いが重要なものの場合 取消す事ができる。
 例外 A は原則 取消せるが、A に錯誤に陥ることに重過失がある場合 取消せない。



動機の錯誤・・・A は錯誤に重要な勘違いがあれば取消せるが、動機の錯誤場合、**動機を**
表示しなかった場合、A は取消せない。